

# 製造業における 特定技能外国人材受入れ事例

(2023年3月)



## 外国人の受入状況：2021年9月現在

- 特定技能1号ベトナム人22名、フィリピン人8名を受入れ中。
- その他、正社員6名、契約社員2名、派遣社員42名である（国籍は中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、カンボジア、ベトナム、タイ）。現在、技能実習生はいない。

### ▶ 特定技能外国人材の受入れの目的・理由

- 2006年に親会社の協力会社から技能研修生監理団体を紹介してもらい、2007年より技能実習生を受け入れ始めた。
- 技能実習生は相模工場（神奈川県）で受け入れているが、2018年から3年間は、本社の吾妻工場（福島県）でも10名程フィリピン人を受け入れている。
- 2019年に特定技能制度ができてから、技能実習生を特定技能に移行させた。

### ▶ 特定技能外国人材の採用方法

- 全員、自社で技能実習を修了した人の移行である。
- 吾妻工場で働いていたフィリピン人技能実習生のうち、銑鉄鋳物関係の実習生は、現在、相模工場で特定技能として働いている。
- 特定技能へ資格変更する際は、在籍する技能実習生全員に労務契約条件を提示して希望者のみを変更した。

### ▶ 特定技能外国人材の受入れや定着を進めるにあたっての工夫等

- 最初に日本語教育を徹底的にすることを大事にしている。日本語がわかれば、仕事もしっかりしてくれるし、生活面も自分たちで対応できる。
- 日本語能力試験は会社負担で受けさせている。N2を最終目標にしており、全員N3・N4を持っている。
- 日本語学習は、監理団体の通訳を入れた社内教育、監理団体によるサポート教育、自己学習等の方法で行っている。
- 業務に必要な技能資格（特別教育に限る）について、テキストや講義内容を事前に翻訳し、当日通訳を呼んで、社内で受講できるようにした。
- 本人たちは、将来のキャリアのために日本語能力試験や技能資格を取得することを重要視しており、それをサポートしている。
- 相模工場には、外国人の派遣社員が多く、外国人も過ごしやすい環境ができています。
- 帰国した技能実習修了生からも再雇用のオファーが来ている。

### ▶ 特定技能外国人材 本人の声

- Aさん 皆さん優しく仕事を教えてくれて覚えやすいです。
- Bさん 生活にも、作業にも大分慣れてきて過ごしやすいです。



作業風景